

CG-72V型セルボ(3代目セルボ)に関しては、初代(SS-20型)が飛び抜けて印象が強い事と、兄弟車にアルトワークスがいる事から、知っている人はいるとしてもネタにしにくい車だと思いますし、僅か2年半で消えていったこの車に乗った事がある人の方が珍しいと思われます。

私の場合は幸か不幸か、中古車市場で見付けて買ってしまった上に、毎年の様に起きる故障の度に、自分で直したり、そこそこの値段で修理する事が出来ましたので、年を追う毎に欠品が増え続ける状態の中、何とか製造から20年は乗り続ける事が出来ました。

そんな日々を送っていた私ですが、21年目のある日、遂にお別れする事になりました。これは、そんな致命的な故障が起きた日から、お別れの日までを書き綴った実録本です。



2009年10月10日、この日は横浜中華街で「中華民国建国祭」が行われる日でした。その日は千葉県柏から高速を乗り継いで神奈川県町田付近へ行き、そこで友達を乗せた後横浜へ向かいました。そして中華街で半日楽しく遊んだ後、鎌倉を経由して江ノ島へ向かい、夜の公園で猫と戯れました。その日自体はとても楽しい一日だったのですが、その帰り道にふとメーターを見ますと、速度計にトラブルが発生したらしく、スピードが表示されていませんでした。ただ、走行自体には異常がなかったため、アパートに戻ってから対処しようと思いました。

翌朝ボンネットを開けてみると、スピードメーターのワイヤーがミッション部分から抜けてるのを見ました。その為付け直そうとしたのですが、固定ねじを越えて抜けた上に、道具が無いと出来ない仕様だったので、馴染みである某ディーラーに車を持っていきましました。このお店はセルボを購入した店では無いのですが、割と大きな故障をした時や、部品の購入の際に頻繁に利用しているお店です。特に工場長のIさんには、整備の手順やら、購入した部品の組み付け、この車の弱点からサービスマニュアルでは判りにくい所までを10年に渡って丁寧に教えて頂いている方です。

そこへ持って行き、外れた部品を組み付けてみましたが、状態は一向に回復しません。そこで試しにエンジンオイルを抜いてみると、中から小さな歯車の破片が数個出てきました。この車は中古で購入した時点でミッションのシンクロが悪く、3速に叩き入れる、2速にぶち込むを実践で頻繁に使っていました。またそこが故障した際は結構な出費になるので、その時が来た場合、重大な決断をしなければなら

らないとも常々思っていました。

とりあえず、工場長のIさんに頼んで部品を注文してみる事にしましたが、お店で部品を検索すると旧車乗りでは良く聞く結果が待っていました。

「これ……欠品になってますね」

Iさんの話だと、車検に関わる部品なので、まだ在庫はあるかと思っただけなのですが、現実はとても非情なものでした。そして、新品での入手を諦めた私は、自力で中古部品を探す為に共通パーツを使っている車種を聞いてみました。欠品にはなかったものの、同時代のアルト辺りとは互換性があるのではないかと思っ……でも、調べ貰いますと、それすら厳しい事が判明しました。

まずCG-72V系セルボでは5速MTの2WD車のみが同一の部品を使用しており（つまり4WD車やAT車はそれぞれ別の部品を使用）、他ではCA-72Vのエンジンを積んだアルトで、アルトツインカムかアルトターボ（アルトワークス以前の車）のみが部品を流用できる車種だとの事でした。私のセルボは実質2年半の販売でしたし、それ程売れた車でもありません。またアルトの派生車に関しても希少車の部類に入る車です。こんな時の為に部品取りで一台保有していたり、パーツを集めまくっているのでしたら話は別なのですが、残念ながらそこまでの部品はストックしてませんでした。また、入手が困難な部品ですから、事実上アルトのエンジン一式を移植するか、諦めて廃車にするかの二択になってしまいました。でも、車検まで5ヶ月近くありましたので、もう少しだけ頑張ってみる事にしました。なぜな

ら部品を入手する確率が、まだゼロでは無いからです。

その後は、ネットオークションで探してみたり、中古パーツを扱っているお店へメールを送ってみたい、スズキ自動車のサイトへ直接メールを送ってみたいのですが、どこも私が欲しいパーツは残念ながら無いとの返事が返ってきました。また、私は割と近くにある自動車修理工場である某お店に行ってみました。そこのお店は、開店当初中古のセルボを数台販売してましたので、ひよつとしたら思ってたのですが、残念ながら現時点では部品が無いので見付かったら連絡するとの事でした。このお店は、後にとっても感謝する事があつたのですが、それは後にお話しします。

次に私はメールにて連絡を取り、茨城県にあるガレージウチイデに行きました。そこは、スズキの軽を中心に車のレストアやチューニングをしている店で、ネット上でサイト自体は知っていましたが、一度は伺いたいと思つた場所でした。現地に行ってみますと、解体屋でもなかなかお目にかかれない様な旧車の軽が敷地内に沢山置いてありました。その敷地内には、私と同じタイプのセルボも存在してましたし、一年前までは可動車として使っていた車だったそうです。その車からミッションを移植出来れば……という期待が胸にこみ上げてきました。

内出さんは、一見取っ付きにくい職人の雰囲気がある方でしたが、話していく内に車への思いを理解して下さったのだと思うのですが、徐々に話し方が変わっていったのを記憶しています。

ただ、外にあるCG-72Vセルボは可動車なのでミッションだけを取りだして売る事は出来ないと告げられました。ただし、車自体を丸ごと購入して貰って、ミッションを取った後の車体は、敷地内に別途保管料さえ払って頂けるならしばらくなら置いていても構わないという話でした。

肝心の値段ですが、車体価格(ただしナンバー無しで外装は傷だらけ)が20万、エンジンを降ろす作業に5万の計25万円位という事でした。ただし、走行距離は7万キロ位走っているので、ミッション状態は(問題無いと思われるが)不明であり、OHが必要な場合は別途料金という事でした。

本当でしたらOH込みで全作業をお願いするのが一番確実的な話です。でも、私のセルボは



趣味車ではなくて、通勤にも使う日乗車ですし、一人で作業を行っている内出さんの所で予約待ちをす
るにしても、いつになるかは不明でしたので、その日は結論を出さずに話だけを聞いて帰ることにしま
した。

ここで、先程セルボの車検まで5ヶ月近くあると書きましたが、この年は政府の方針でエコカー減税
の上にエコカー補助金がある年でした。車を乗り換える選択をした場合、エコカー補助金が12月まで
(注・当時は12月分になると補助が出ない可能性があった)と言われてましたから、それらを天秤に
かけて早い内に今出来る最良の選択をしなければと思いました。もちろん、中古車を購入するのではな
ら、気にしなくても良い制度なのですが、国が(後に税金で取られるとは言え)25万円まで出してく
れるというのですから、買い換える際にはこれを利用するのが最良の選択だとも思いました。

もちろん、セルボを購入した時のように、安い車を買って自分で直すという方法もあります。でも、
そこまで時間をかけたりして楽しみながら乗るのはセルボ辺りまでの車までだろうと私は思っていました
から……。

こうして悩みながら更に一週間が過ぎた頃、私の元へメールが一通届きました。

差し出し人は、1995年頃からの友人で、名古屋に在住しているKANERUSさんからでした。私は

セルボの部品を探すのと同時に、部品取り車かレストアベース車扱いとして無料で現地まで乗行くので引き取ってくれる方がいないかと、何人かの知り合いにメールを送っていました。

その中で唯一「置き場所が確保出来そうなのでいいよ」と返事をくれてたのが他ならぬ彼だったので。(注：その後、田舎の友達も「うちの庭にオブジェとして置いてもいいよ」と言ってくれました。今でも感謝しています)ただ、その時はもうエコカー補助金を申請して新車を買うというのも、今後の事を考えれば有りかな……とも思っていましたので、それらをメールに書いて送った所、間もなくして再び返事が届きました。

その内容はこうでした。(以下原文のまま)

「セルボの件は 大変残念ですが補助金価格には変えられません、思い切って廃車にしましょう。以前話したかもしれませんが、私の父は私が小学校のころイスズのベレットに乗っていたのですがイタズラで傷をつけられて、ショックで廃車してスクラップにしてしまいました。大切なものだから自分の手で消去する という気持ちだったのだと思います、わざわざスクラップにされるのを見て確認もしたそうです」

この文章を読んで、「存続させて下さいではなく、何で廃車にしましょうなんだ？」と思われる方もいるかも知れません。でも、そのメールが届く前から私自身の中でもう何をすれば一番良いかという結

論は出てたのです。でも、それを認めたくない、行いたくないという気持ちで邪魔をしていただけなのですが KANERUSさんは、そんな私の心を見透かしたようにポンと背中を押してくれたのです。

後日、KANERUSさんと話をする機会があったのでその事を聞きましたら、「結婚してるし、独身ならともかく無茶な（楽しくも金がかかる）事は言えない」と答えてくれました。私も「そういう気持ちで書いたんだと思った。俺が独身なら絶対に直してるもの」と言いました。彼も私の性格を知ってるので、私がそういう選択をする可能性がある事を充分判っているのです。それを踏まえた上で、あえて「廃車にしましょう」と、一番現実的ではあるものの言いにくい言葉を言ってくれた……私は本当に良い友に巡り会えたと思っていま



す。

その後は、某ディーラーのIさんと店長のKさんに、セルボの廃車と新車購入の件で話に行ったり、『某』お店様とガレージウチイデ様にも菓子折を持って行き、廃車にする事にしたので相談に乗って下さった事への挨拶をしてきました。また、都内の思い出の地をドライブしたり、洗車したり、廃車までの期間、ミッションをこれ以上壊さないように2〜3日に一回の割合でエンジンオイルを交換したりと、最後の日までいつもの様に乗り続けようと思っただけを過ごしてました。ただ、不思議な事に、廃車にすると決めた日から、ハブベアリングが鳴り出したり、アイドリングが安定しなくなったりというマイナートラブルが出始めたのも事実でした。

そして、11月20〜22日の実家への帰省走行も何とか無事に終えて（その時、同じセルボ乗りでもあるIGRSさんとスズキセル坊さんに会える事が出来ました。最後の最後にセルボを見せる事が出来て嬉しかったです）、後は12月4〜6日の京都&名古屋遠征を行えば、後は新車「スイフトスタイル」の納車日である12月12日にアパートで部品を取った後、セルボとはお別れという予定でした。

そうしていた12月1日の朝、通勤途中に信号待ちをしていた際、それはいきなり起きたのです。アイドリングがおかしくなり、アクセルを踏んでも手応えが悪く、ストンと0になったかと思うと、後はセルを回しても全く動かなくなりました。

私は仕方ないのでニュートラルにしたまま車の外へ出て、車を押して路肩へ寄せました。(この車は600キロしか車重が無いので押すのは簡単なのです)そして、近くにあるK店へ電話をかけて、工場まで牽引してもらいました。状態を見てもらいますと、火花が来てないという事なので、点火系のトラブルではないかという事でした。費用は交換部品代だけで2万位かかるという事でしたが、仮にそれを取り付けても直るかは判らないとの事でしたが、私は4日までに部品が届くのなら構わないと話しました。

普通なら12日に廃車にするのですから、このまま直さずにとというのが妥当な方法なのですが、最後の走行が出来る可能性が僅かでもあるのですから、悔いが残らない様に行動したかったのです。

そして、4日の昼に、K店から思ってもいかなかった様な連絡が入りました。

「部品の入手先の手配間違いで、入荷が7日以降になる」と……。

私は「それでは全く意味がないし、4日までに部品が入荷するからお願いした筈」と答え、部品はキャンセル扱いにしてもいいという事だったので、そうさせて頂きました。そしてすぐにスズキカードのサービスに連絡してレッカーを手配し、スイフトを購入する某ディーラーへ運んでもらいました。ちなみに、精算の際にはその店長は不在でしたし、店員は皆トラブルには関わり合いたくないという態度が見えたので、それまで頻繁に利用させて頂いていたお店なのですが、それ以来二度と行ってませんし、もう行く事も無いでしょう。

やがて夕方になり、某ディーラーへタクシーに乗って行った所、対応してくれたIさんは「点火系のトラブルらしく、このままでは動かない」という事でした。ただ、セルを回すと動こうとはしてるので、何とかかなりそうな感じでもあるとの事でした。

その時、私はタクシーの中で某お店に電話で連絡して、セルボに合いそうなデスビがあれば引き取りに行くご連絡したので、代車を借りたら取りに行く話をしていと告げた所、石井さんからこんな答えが返ってきました。

「某お店ってあそこにあるあの店の事？」

「そうです」

「……実はそこ……うちで前に働いてた人がやってる店なんですよ」

「え……！そうなんですか……」

と、そんな話があった後経緯で、Iさんと某



お店のI社長との間でセルボに使えるような車種のデスビはないかと話し合ってくれて（恒久的に動かす訳ではありませんから、とりあえず動けばいいレベルの部品）、スズキの中古車が何台か転がっているのでこの車種（たぶんアルトとかジムニー辺りだったと思います）ならとりあえず付けられるだろうという返事を頂きました。

私は、代車を飛ばして某お店へ行き、部品を受け取った後に、デスビの代金を払おうとした所、社長は笑顔でこう言ってくれました。

「ああ、その部品、使えそうだったら払ってくれればいいよ」
私は深々とお礼をしながらその場を去りました。

その後は、借りた部品をIさんに渡して、代車のアルトに乗って帰宅しました。本当でしたら代車の都合が付かなさそうな話だったのですが、新車を購入するという事で、店長に話して無理に都合を付けてくれたのかも知れません。そして、その車で京都、名古屋へ向かい、セルボが最後に辿る道を走ってきました。（もちろん、長距離を走るといふ事は、借りる際に断りを入れておきました）その道中、京都ではセルボモードに乗っていたぐっさん 0909 さんと、名古屋では KANERUS さんとお会いして、楽しい思い出を胸に刻むことが出来ました。セルボはもちろん乗って行く事は出来なかった訳ですが、ハンドルのホーンカバーだけは一緒に持っていった次第です。

やがて12月12日になり、本来ならセルボはスイフトと引き替えに廃車になる日だったので、当初セルボから部品を取れるだけ取って持ち込みたいと言っていた事もあり、スイフトの納車はそのまま行おうとして、廃車の日を一週間延ばす事になりました。もし、このまま再始動が出来ないのでしたら、最後の土日にその場で部品を取らせて頂くという話を、IさんとK店長へ話しました。

そうしてスイフトで店から帰った私ですが、夕方頃、Iさんから電話がありセルボのエンジンがかかったとの連絡を受けました。原因はデスビ部分のポイント摩耗で、店から家に帰って部品を取る位なら大丈夫だろうと言う事でした。本当はその日の内に引き取りに行きたかったのですが、都合もあるので、当初の予定通り一週間後に引き取りに行くと言って電話を切り



ました。

当日、店の開店と同時に、私はセルボに会いに行きました。久しぶりにセルボに乗ると、3週間程放置されていた為埃やカビの匂いがしたのですが、乗り心地や感触を体が覚えているらしく、妙にしつくりしたのを覚えています。そして、キーを回してみますと音こそ悪いものの、エンジンが回り始めました。

私はIさんに修理代を払うのでと値段を聞いたのですが、彼は笑いながらこう言ってくれました。

「その件ですが、仕事が終わってから私が時間外でやった作業ですし、店長と話をしまして、部品代はサービスという事で……いいです」

トラブルで動かなくなり、もう廃車になる寸前のセルボを、私の都合でもう一日だけ走らせたいという願いを叶えてくれただけでなく、その期日を引き延ばして頂いた上に、セルボの修理代までサービスして頂いたという……この車は本当に良いお店の下で最期を迎える事が出来たんだと私は思った次第です。

その後、スイフトとセルボを並べた画像を撮らせて頂き、スイフトには一旦隅で休んで手頂いて、いよいよ翌日の日曜日までの最後の走行へと旅立ちました。お店を出てからは、友達と待ち合わせをして助手席に載せて車を走らせたり、近くにある公園の駐車場へ車を停めて、可能な限り写真を撮りました。

その夜、セルボは私のアパートにあるガレージで最後の夜を迎えたのですが、家中にあるぬいぐるみ達を車の中に置き、寂しくないようにしてあげてから床に就きました。

翌日早朝、肌寒く、ガソリンも残り少ない中、私は本当に最後のドライブに出かけました。コースは柏から国道6号線を北上して取手でふれあい道路に入り、ジョイフルホンダ付近を経由して谷和原ICで常磐道に乗り、守谷SAで休憩しました。そして柏ICで降りて、昨日停めた駐車場に再び車を停めて、朝日の中で撮影をしました。

その後、車を駐車場からだそうとしたのですが、出口にある精算機がどうやってもお金を受け入れてくれませんでした。仕方なく業者に連絡を取り、結果的には料金を払う事無くその



場を後にする事が出来ました。その後はもうアパートに帰るだけでしたので、セルボがお別れを悲しんだのかも知れません。

最後のドライブを終えてアパートに戻って来たのは9時頃でした。そして、いよいよセルボからの部品取りを始めました。まずリアのハッチ部分から部品を取り始め、その後左右のドア部分、フロントパネル部分、リアのパネル部分へと、大きい部品は保管の都合上断念しましたが、小さい部品は可能な限り取りまくりました。

もちろん、この後某ディーラーまで車を運転しなければなりませんから、ライトやミラー等の保安部品をアパートで取る事が出来ませんので、それらは持ち込んでから取る事にしました。

アパートを後にしたのは午後2時半、その後ディーラーに着いて保安部品を取りまくり、全ての作業を終了したのが午後4時の事でした。そして最後にセルボとスイフトを対面させて最後のお別れをさせた後、その場を後にしました。別れる最後には、セルボに今までのお礼を告げて……。

この車は、1988年末、女性をターゲットにしたセカンドカーとして「横町小町」というキャッチコピーと共に売り出したのですが、内装を男性向けのデザインにしていたり、5速MT仕様だったり、アルトと差別化を図って独自のキャブを装備してみたりと、一体誰に向けて売りたいのか判らない車だっ

たりします。(いや、そのカオスさがとっても魅力的なんですけどね。この魅力は乗った者にしか判りません)

私のセルボは、1999年に13万円という中古価格で購入した時は、内外装共にボロボロで、エアコンはその半年後に一回、その数年後にもう一回交換しています。他にもハブベアリングや、クラッチ、ダイナモ、エンジンマウント部の腐食、オイル漏れや冷却水漏れ等、軽微な故障も含めればほぼ一年に一回以上は修理に出していたのではないのでしょうか。それも、簡単な部品交換は自分でやった上での話です。また、外装の傷はパテで埋めて自分で塗装してますし、内装はダッシュボードも含めて一回全部剥がしてカビやらゴミやらタバコのヤニやらを掃除した事もあります。

また、この車もスズキ車のお家芸である「車は工業製品」をしっかりと実践してますから、樹脂パーツ類の劣化が買った当初から酷かったりと、苦勞を楽しむには事欠かない車でした。それと、スズキ車名物のビビリ音……これもしつかりとありましたから、その対策であれこれ悩んだ事もありました。

でも、軽なので部品代は安かったですし、パーツリストとサービスマニュアル、そして整備経験がある方の助言さえ頂ければ、ある程度までは自分で分解、整備が出来る車だったりします。これが最近の車でしたら、部品代の高さや修理代にお金が掛かり過ぎてすぐに手放していた事でしょう。

セルボは、この数年後にエンジンが600CCになり、軽規格そのものが変わってしまったので、後継の車種（セルボモード）との互換性が無かったりします。また同時期兄弟車であるアルトや、先輩？であるフロントテとは、フロント部分のライトやダッシュボード等に互換性がある位です。他にも使える部品はあると思いますが、ミラーやドア、イス、ハンドルも含めた内装類、リア回り、エンジン、キャブ等も独自設計ですから、オリジナルの状態を維持するのは、生産台数を考えた場合非常に難しい事とお判り頂けるかと思えます。（部品は2005年位から欠品が目立ち始めました）もちろん、親であるスズキにもメールを送ってみたのですが、どうしようもないという悲しい返事をいた次第です。

本当は、動かなくなつたとしても、後世に画像ではなく形として残して置きたと思つてました。なぜなら、スクラップにしてしまえば、その車は永久にこの夜から消えてしまうのですから……。そうだからこそ、自分の置かれた環境や世間の状況がそれを許さなかつたというのが、とても残念でなりません。出来る事ならもう10年乗り続けて、クラシックカーのイベントに出したかったですね……。

また、今回はセルボの故障から廃車までの間、とても多くの方々の協力を得る事が出来ました。某お店のI社長、ガレージウチイデの内出さん（故人）、KANERUSさん、ぐっさん0909さん、WADさん、スズキセル坊さん、IGRSさんには、精神的にとても助けられました。そして今回一番助けて頂いたのは、某ディーラーのK店長、I工場長のお二人です。

特に私はIさんがいたからこそ、そのお店に通ってましたし、10年お世話になったからこそスイフトをその店で購入することにして保険もそこへ切り替えました。最後にセルボの部品代をサービスしてくれたり、期日を延ばしてくれたりしたのは、そういう経緯があるからなのかもしれません。でも、例えリップサービスや、営業的な考えがあったとしても、それを行動で示してくれた事が、私としてはとても嬉しかったです。

車は人によっては消耗品扱いですから、飽きたり、壊れたりした場合は簡単に処分するのが普通の世の中になっています。リサイクルという名で誤魔化していますが、自分が必要で無い代物は、他の人も必要無い場合が多いのです。要はどんどん価値が下がる中で誰がババを引くか（最終処分を行うか）だけなのです。



そんな中で、古くて、よく壊れて、その度に苦勞させられても「仕方が無いなあ……」と修理しながら乗り続けていられた車……それが私には3代目セルボだったんです。それだけの事です。

最後に、某ディーラーのK店長が私とセルボとの最後のお別れの際に言ってくれた言葉を書き記します。

「セルボへの拘りを見えますと、私が最初に買った車の事を思い出しましたよ」

そんな事を言って貰えたセルボは、本当に幸せ者でした。ありがとう……。

本当に楽しくて面白い車でしたよ。

おわり

